

はりきゅう

鍼灸の臨床研究について

概要

- ◇ これまで精神的に健康であったけれど、交通事故やスポーツで頭や首やお尻（尾骨）を強打したり、頭やお腹の大きな手術を受けたりした後から、精神的に不安定で慢性的なうつ状態や物事に集中できないことなどで悩んでいることはありませんか。
- ◇ 安全で副作用の少ない鍼灸はうつ病に対する代替医療として世界的に注目されており、中国やアメリカなどにおいては、多くの人が「うつ」を主訴として鍼灸院を訪れています。
- ◇ 故長野潔氏は「頭部瘀血（とうぶおけつ）」という病態を提言し、「頭部瘀血」と「うつ」との関連性に着目しました。「頭部瘀血」の改善が精神症状の改善につながるという長年の鍼灸臨床経験がその治療理論を裏付けています。なお、長野式鍼灸は松本岐子氏によって **Kiiko Style** に翻訳され、アメリカのハーバード大学医学部においても採用されています。
- ◇ 東洋医学において、「頭部瘀血」は頭における血液の滞り（ドロドロの血液）を示すとされています。その契機としては、頭や首の外傷や手術、尾骨の強打、お腹の手術、出産などが挙げられます。また、「頭部瘀血」は契機となる出来事の直後に現れるだけでなく、数ヶ月後、数年後に初めて現れることも稀ではないため、長年の古傷を癒すことによって現在お困りの精神症状を改善できる可能性もあると言われています。
- ◇ 「頭部瘀血」は、最近注目されるようになった「低髄液圧症候群（脳脊髄液減少症）」との関連性・類似性も指摘されています。



対象

- (1) 頭・首・お尻（尾骨）の外傷や手術の後に出現した慢性的なうつ状態。
- (2) お腹の手術（婦人科の病気など）や出産の後に出現した慢性的なうつ状態。

方法

- ◇ 鍼灸は専用の鍼灸治療研究室において、経験豊富な鍼灸師によって行われます。
- ◇ 鍼灸セッションにかかる時間は60分前後で、週に1～2セッションを行い、計10回の鍼灸セッションで1研究クールが終了します。
- ◇ なお、鍼灸にかかる費用の自己負担分はございません。

- 鍼灸の臨床研究に興味をもたれた方は、担当医師にご相談の上、当院の「ストレスケア担当者」までお電話下さい。当院の「ストレスケア専門外来」にて詳細をご説明いたします。
- 本臨床研究への参加をご希望されても、臨床研究の対象者に該当しない場合には、臨床研究への参加をお断りさせていただく可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
- 臨床研究への参加は患者さんの自由な意志に任されており、決して強要されるものではありません。たとえ臨床研究に参加しなくても、また途中でお辞めになっても診療上の不利益は一切ありませんのでご安心下さい。

神奈川県立精神医療センター^{きんこう} 芹香病院

（電話：045-822-0241） <http://www.kinkou.org/>